芸陽観音同窓会報

芸陽

'12
五輪年号
(オリンピック)

題字：元本校書道教諭
坪井宏(号　工鷹)先生書

挨拶

同窓会会長　平松　恵一
(観音10回)

同窓会会長を受けまして5年になりました。お陰様で本校の創立90周年という慶事に巡り会うことが出来、心よりお慶び申し上げます。90周年記念事業につきましては、90周年記念事業実行委員会において話し合い、記念式典・記念誌の発行・記念品制作、同窓会による中庭の整備・記念碑建立・ＤＶＤの制作を行うことになりました。11月10日には「継承ポプラの絆、90年の時代を越えて」のテーマのもと、総会後の懇親会と共に創立90周年記念祝賀会が開催されます。これらの行事を機にポプラの絆としての我が母校の伝統を再認識したいと思います。我々の伝統を引き継いでもらうためにも、伝統の明文化と生徒たちへの周知が必要と考えます。その一環として、同窓会視点での沿革の編纂に取り組んでおり、「同窓会語り部」の創設なども考えられます。会員の皆様のご参加ご協力を、宜しくお願い申し上げます。

◆　◇　◆　◇

強い絆を感じて

校長　中川　潔

本年11月に開催する90周年記念式典に向け、90周年記念事業実行委員会長に平松同窓会会長、委員に加藤同窓会副会長、吉永同窓会副会長に参画いただくとともに、本校に在籍する同窓会生の教職員で構成する校内委員も加わり、現在、鋭意準備を進めております。

同窓会からは、中庭整備、記念碑の建立、ＤＶＤ制作などが計画されており、本校の教育活動に多大なご支援ご協力を賜り心から感謝しております。また、同窓生の皆さんが、母校を思う気持ちを色々なところで感じることがあります。二中22回期の故杉岡昭吾氏の絵画が同窓生のお世話により廃校になった大和高校から里帰りしたとき、海外との姉妹校提携についてお世話いただいたとき、同期会の折に本校を見学されるときなど、同窓生の皆様のよき思い出である母校をさらに発展させねばと強く思います。これまで以上に、「秩序ある自由」という二中以来の伝統を受け継ぎ、教育活動を行ってまいります。

本年度は県からチャレンジハイスクール（※）の指定を受けました。これは、いままで本校が行なってきた教育活動の成果が認められたものであり、地域からの本校への期待も高まっております。オープンスクールに約千三百人の中学生・保護者の皆様さんが見学に来てくださることからも信頼された学校の証だと思っております。同窓会との絆を大切に本校の教育活動を行ってまいりますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いします。

※チャレンジハイスクール　県立高等学校の中からトップリーダーハイスクール（5校）、チャレンジハイスクール（15校）、ステップハイスクール（20校）を指定し、学力向上に係る事業メニューを展開することにより、県立高等学校全体の学力向上を推進することを目的に実施されている。

同期会開催を支援します

同窓会の活性化の一環として平成23年より始めました。支援の内容は、
①案内状印刷時のお手伝い
②発送時の援助（通信費、ラベル印刷）などです。

原則として卒業後10年または30年前後の期で各回期について1回のみとしています。弾力的な運用を行いますので、事務局へお問合せ下さい。

同期会を開いて頂く時には、同窓会長のメッセージを託しますので、披露して下さい。また終了後、会報掲載用に集合写真を含めた記事を事務局に送って下さい。本年度は、観音5回、観音21回、観音34回、観音61回の同期会の支援を行っております。

写真と記事を各々受け取っていますので本誌の「ＯＢ会だより」をご覧下さい。

今年の（総会・懇親会）標語「ポプラの絆・継承・90 年の時代を超えて」に思う

常任理事　青山　祐三朗

今年は母校創立 90 周年。同窓会でもお祝いとして、中庭の整備と記念碑の建立を企画し、10 月 7 日の記念式典に先立って、贈呈式が行われることになっています。記念碑には、おなじみのポプラの葉と、二中、芸陽、観音の三つの校章が刻まれるとともに、中央には大きく「絆」の文字が刻まれています。2010 年 1 月に NHK スペシャルとして放送された「無縁社会」や 2011 年 3 月 11 日の東日本大震災等を契機にして、「絆」ということが強く意識されるようになりました。「きずな（絆）」を求めての大斉唱です。

「きずな」「きずな」と誰でも口に出すのは簡単です。しかし問題は行動。その解決を他者に任せるのではなく、自分自身が、それにどう対処していくかを考え、それを行動で表わすことが求められます。「きずなを大事にしよう」「きずなをつなごう」といっている皆さん方（私も含め）にお伺いしたい。そのためにあなた方は（自分）は日々なにをしていますか？と。

「絆」をつぐむには、まずつぐむ相手が要ります。しかも、フェイス・ツー・フェイスの関係です。そして、つぐむ場所が要ります。しかもそこは、安全安心の場、暖かく開かれた場、相互尊厳の場です。ケアーの場でもあります。三つめが、つぐむ本人の態度、こころの持ち方でしょう。それは「感謝の心」であり、「思いやりの心」であり、「自立の心」です。加えて、共通の思い、志があるとなおいい。

絆をつぐむために行動しましょう。まずは今から、身近な人に、目の前にいる人に、話しかけることから始めましょう。「どうしてます？元気です？」と。そして、「ありがとう」「おかげさまで」、と。

◆ ◇ ◆ ◇

二中、芸陽高校、観音高校の歩み

大 11	広島県立広島第二中学校として発足
昭 2	第一回卒業式、同窓会発足 排球部が関西中等学校選手権大会で優勝、 以降 20 年間で優勝 10 回、準優勝 3 回など全国最強を誇る
昭 4	校旗制定
昭 8	関西唯一の公認 50 メートルプール落成
昭 20	原爆投下により校舎倒壊全焼、職員 9 名、生徒 341 名死亡 可部、廿日市、海田に三分教場開設
昭 21	二中校舎完成、三分教場より本校舎に復帰
昭 23	学制改革で、二中は広島県芸陽高等学校と改まる
昭 24	広島県広島観音高等学校と校名変更、校章決定。 ポプラの葉 4 枚（普通科、家庭科、商業科、定時制）の中に 広島観音の頭文字 HK を組み合わせた
昭 25	現校舎に移転
昭 26	国体で硬式野球部がが全国優勝、翌年春の甲子園出場
昭 27	国体ヨット高校の部全国優勝、翌年も全国優勝
昭 29	全国総体卓球競技大会で男子個人及びダブルス優勝
昭 31	学区制を廃止、市内 5 校総合選抜制度開始 軟式野球選手権大会に西中国代表で出場 商業科課程を廃止（昭 29 に広商へ商業第 1 学年転出）
昭 33	体育館兼講堂竣工。芸陽同窓会と観音高校同窓会とが合同して 「芸陽観音同窓会」を結成
昭 37	創立 40 周年、同窓会館竣工
昭 38	家政科が普通科（家政型）となり、名目上家政科廃止 50 メートルプールを観音小に譲渡、新プール建設
昭 39	同窓会報「芸陽」復刊 1 号を発行
昭 40	高校演劇全国大会優良校、全日本合唱ｺﾝｸｰﾙ県大会 1 位
昭 42	同窓会館増築。硬式テニスシングルス広島県知事杯 1 位
昭 43	広島県立広島観音高等学校と校名を改める
昭 44	中国高校水泳大会女子 100m 背泳、200m 背泳各 1 位 学校音楽コンクール中国大会合唱の部で最優秀校
昭 48	普通科甲型（家政科コース）最後の卒業生
昭 49	全国軟式優勝野球大会で全国ベスト 8 中校舎改築（4 期に分け昭和 54 完成）
昭 56	新体育館兼講堂完成。旧施設は柔道場、剣道場へ
昭 58	新プール完成
昭 61	中国高校陸上及び日本ジュニア選手権で女子走高跳 1 位
昭 62	国体で女子走高跳 3 位
平 4	本館リフレッシュ工事（3 期に分け平 5 に完成）
平 5	広島県定時制総合体育大会、選手権大会男女共総合優勝 男子は平 6、平 7 も総合優勝
平 6	県高校総体硬式テニス男子シングルス 1 位
平 10	普通科は普通課程の総合学科としてスタート
平 11	西館改築（平 12 竣工）
平 13	広島県高校デザインコンクール特選入賞
平 16	高校サッカー選手権広島大会で優勝、全国大会ベスト 16 以降高円宮杯ベスト 8、平 18 高校総体全国優勝など活躍
平 18	全日本高校生 S-1 グランプリで書道部グランプリ受賞
平 22	女子バスケットボール部県高校総体優勝、沖縄インターハイ出場
平 23	日本高野連第 84 回選抜高校野球大会 21世紀枠候補

委員会報告

総務委員会

本総務委員会においては、同窓会目的にそって学校支援と会員の親睦活動が効果をもたらすべく、各委員会活動に対して支えていくことに努めています。学校創立 90 周年記念事業では、同窓会として、記念碑の建立と中庭整備など、学校と協議し、実効が上がるものを行う。また、今後同窓会の円滑な運営を図るために規約改正の検討も行っているところです。

行事運営委員会

当委員会は毎年 8 月 6 日に平和公園の広島二中慰霊碑前で行っている式典（慰霊祭）、10 月中旬に行っている母校慰霊碑での慰霊式が主である。

式典が円滑に行われるように、見回りと掃除を行っている。慰霊祭は遺族会、同窓会、学校、PTA、生徒会及び関係者のご協力を得て行っている。東日本大震災は真に気の毒であった。その影響で広島方面の修学旅行が増え折鶴やお花、時には文集までも奉供されている。お名前の判明するところへはお礼の手紙を出している。

広報委員会

1. 広報委員会は他委員会及び事務局と連携を取り、月に 1 回程度会合を開き、問題に当っている。
2. 同窓会誌の内容検討、一部記事執筆
3. 同期会支援、クラブ活動支援の具体的検討及び関係先へ周知

財務委員会

1. 母校創立 90 周年記念事業への支援について、以下の 2 項目について検討した。
   ①支援の金額　②支援金の支出時期
2. 同事業について、会員への周知の方法及び内容の 2 項目について検討した。
   ①会報に掲載する　②チラシを作成する

二中 11 回生　金本康三さんと卒業記念アルバム

塚本　昭（二中 23 回、観音 1 回）

5 月のある日突然、ホームページ用のメールアドレスに、塚本宛に見知らぬ人からメールが入って来た。

内容を読むと、自分（金本光司）は、日系 3 世で、父は金本康三と言い、シアトル生まれで、93 才。現在、ロスに住んでいるが、1927 ～ 1937 まで、八幡（現佐伯区利松）に居て、広島が一番よい思い出になっている。古い写真を整理しているが、web にアップしている写真の二中というのは、あなたの学校か、という質問だった。少し調べるようになると思ったので、私に任せて貰った。

写真共有サイトにアップロードされている一連の写真の中に、運動会だと思われるが二中の校旗がはためいているものがあった（写真参照）。

一方、手持ちの「芸陽」1975 年版の住所録を調べると、確かに、11 回生金本康三という名前がある。とりあえず、写真は二中のものであり、お父さんは二中に在籍されされた事は間違いないこと、同窓会事務局に聞いて、更に情報があるか調べるので、時間を貰いたいと返事を出した。

芸陽観音同窓会事務局にメールを転送して調べてもらったところ、転居先不明となっていた。しかし、幸運だったのは、11 回生の卒業記念アルバムが残っており、しかも事務局で電子化（pdf 化）してあるので、アメリカへ郵送することは可能であるとの返事が来た。そこで、アルバムの中から、康三さんの写真と全体写真を抜粋して送ってきて貰った。

弓を引いている生徒の隣が関本先生

早速メールに添付して、送ってあげると同時に、CD 化したアルバムを送る宛先を知らせて欲しいと書いたら、こちらが驚く程喜んでくれて、喜びが日本語では書けないので、英語で書きますと言って、頭が rampant と言う表現でよほど嬉しかったのだと想像出来た。

同じ頃、事務局が別の捜し物をしていて、偶然「芸陽」という校内誌の戦前の冊子が見つかり、中に康三さんのランニング姿と一緒に関本先生が写って居られる写真が見つかったのでメールで送ってもらった。先方に送るメールの中で、この二中 23 回のホームページで紹介している先生のエピソードを書いた。

関本先生のお墓は、江波山の海寶寺墓園にあり、お盆明けの 8 月 18 日に有志でお墓参りを計画し、有志でお墓参りをして同期生で僧籍にある山下晃君にお経をあげてもらった。

CD の宛先は現在「康三さん」の姪になる政子さんが住んで居られる佐伯区利松の住所を指定してこられた。多分郵送料のことを考えてのことであろう、なかなか配慮のある人だと感じた。あとで、自分は日系企業の部長職をしていると身分をあかして頂いた。こちらは、国際的なメールを出すことに慣れていないので、時差を考えずに送るため、屡々仕事中に届いたりすることが多かったようで、申し訳ないことをしたと思う。

金本光司さんは大変インターネットを使いこなすスキルに長けて居られるので、私は一寸付いていくのに苦労するほどだった。

メールのやりとりのなかで、二中のことも少し書いてあるからと言ってブログのアドレスを紹介された。

http://p47koji.wordpress.com/2012/05/15/masako-and-spam/

父の日に集まった金本さん一族

これは、金本政子さんが終戦直後の食料不足の時、康三さんから貰ったスパム（コーンビーフのようなもの）をおむすびに付けて食べるのが好きで 60 年経っても、その好物は変わらないという話から始まって、金本一族の家族小史になっている。この中に二中の話も少し触れてあるので、読んで欲しいということであった。

6 月 11 日、アメリカに届いた CD から複製したアルバムをプレゼントに、1 週間早い父の日のお祝いを康三さんの住んでいるロスアンゼルスの senior house で催したと言って、多くの写真、動画を送ってきて頂いた。お父さんが喜んで居られる様子、大家族でそろって食事されるところなど、今では日本でも見られないような暖かい雰囲気が伝わって来て、見る者を和ませてくれるシーンの連続であった。特に、全員が満面の笑みで康三さんを囲んで写って居る集合は圧巻である。こそれにしても本当によい家族を康三さんは持たれて幸せな人だと感心した。この模様といままでのいきさつについて、ブログに書いたので読んで欲しいと紹介されたのが以下のアドレスである。この中に、ポプラ会のホームページの Abomb and Us にリンクを張ったからと追記されて居る。又、このブログへのアクセス数がアップされた直後 500 件を超した頻度ですごい反響だと。

http://p47koji.wordpress.com/2012/06/13/an-atomic-spark-from-a-1937-yearbook/

更に、youtube に康三さんがアルバムをみておられる模様をアップして紹介されている。記憶力が素晴らしいのが会話から読み取れる。又かくしゃくとして居られる。（康三さんと卒業記念アルバム）

最後に、gift として頂いた whisky flask を紹介する。これは、側面に、Nichuu High School,August 6,1945 と彫刻されてある。一緒に添えられた手紙に、原爆で亡くなられた生徒さんを偲んで献杯をして欲しいと書いてあった。

金本光司さんの意を汲んで、今年の 8 月 6 日に、このフラスコに、お酒ではなく、生徒達が欲しがったであろう水を入れて、慰霊碑にお供えした。

一本のメールから始まったこのお話は、金本康三さんに対する最高の贈り物が出来たという首尾となった。アメリカで親孝行健在なりというのが私の感想である。

金本康三さんの末永いご長寿をお祈りします。

OB会だより

二中19回

三上純一郎

総会及び懇親会開催報告
●平成24年5月12日（土）
●リーガロイヤルホテル広島
●集いし学友16名
●近況　昭和15年4月入学時
　定員250名
　現在音信可能な級友91名（うち返信69名）この1年間訃報連絡の級友6名
●来年の開催予定日
　平成25年5月11日（土）
　（第2土曜日恒例）

二中21回

昨年5月で同期会は中止としましたが、大阪在住の有志から「再発足しよう」という声が上がり、世話人6名が中心になり、同期会を続けることになりました。

1 開催時期　毎年5月15日に近い土曜日の11：00～14：00
2 会費　飲食費5千円
3 付き添いで家族同伴歓迎。費用は飲食費のみ3千5百円
4 会場　アークホテル広島（利便性を考慮）

多くのご参加を期待します。

同期会再発足世話人
松山　多久　橋本　平峯　溝上　永井

二中22回

出原章

平成24年4月22日(日)リーガロイヤルホテル広島で恒例の第64回総会、懇談会を開催しました。昨年は全員が満八十才になった喜びを祝し賑々しく会が盛り上がりましたが今年の参加者は昨年より四名少ない三十二名でしたがお互い年を取っても元気に語りあえる喜びを感じながら盛会に進行しました。

来年も元気で会えることを約束し校歌を歌って散会しました。

二中23回

浅野温生

„23期“に因んで、今年も2月18日の第3土曜日に、ANAクラウンプラザホテル広島で開催しました。今年の参加者は34人。県外からの遠来組はゼロでしたが、昨年の傘寿記念同期会が36人でしたから、まずまずの参加数でしょうか。これも東日本大震災でクローズアップされた„絆“効果のせいかも…。

会場の同ホテル4階のカトレアの間には、母校・旧制二中の校旗が飾られ、代表幹事・久保田君の開会挨拶、昨年の物故者7人に黙祷のあと、開宴、スピーチ、懇談と続きました。

参加者には返信葉書に記載された仲間たちの近況報告の要約コピーも配布され、懐かしいニックネームや在学当時の思い出、息子家族や孫、病院通い…などの話がはずみました。

また我々23期のHPの作成・管理を担当している塚本君から「„被爆体験記　ポプラは語り継ぐ“を電子辞書化してセットアップしたので、見て欲しい」との呼びかけがあり、参加者全員にCDが配布されました。

次いで今年から初の余興としてカラオケも登場、刀禰幹事の軽妙な司会で、流川？あたりで鍛えた仲間が、自慢のノドを次々に披露、フィナーレは二中校歌、ああ紅の血は燃ゆる、同期の仲間の定番3曲を斉唱、来年の再会を約して閉会しました。

なお、この度同期会より同窓会に寄付をし、今年の同期会記念として、母校の創立70

二中25回

加藤幹二

周年、同80周年記念の「白楊」も配布され、改めて母校、二中・観音との“絆”を確認しました。

第26回　廣島二中25期生総会（懇親会）の開催報告

●平成24年4月29日（昭和の日・恒例）

●広島県民文化センター（鯉城会館）

●同期生35名（高校別のテーブルにて実施）

●総勢287名（連絡可能者152名・居所不明者22名・物故者113名）

●「成人の日」（昭和58年～平成19年）から「昭和の日」（平成20年に変更して5回目好評）

終わりに、全員で校歌を声高らかに合唱。せめて平均余命（傘寿）までは実施することを約束して閉会しました。

観音3回

山木和雄

ネギの会、傘寿で神戸に集う。

神戸は人にやさしい街だ。六甲に連なる美しい街並、行き亘る清風は訪れる人々を温かく迎える。神戸人も実に人懐っこい。大阪の泥臭さ、京都の気取りにない、人との対応のスマートさ、それでいて相手の善悪を見分ける能力は慥かである。

これは歴史的に異人を受け入れ適応して来た賜かも知れない。回復力にも秀れ、十年前の震災の爪跡は見事な迄に払拭されている。

この地にネギの会の傘寿旅行が決定された。五月廿日、メンバーの約半数が新神戸駅に集合、直ちにめざす有馬温泉に直行した。この年になると温泉の癒し湯が何よりの宝物である。人生の垢を流し、ようやく人心地ついたところで団欒の場に向う。神戸牛に舌鼓を打ち食後はカラオケのあるサロン室で寛ぐ。毎年広島で顔を合わせているのに皆の顔が若やいで見えるのは何故か。

楽しい昔話はホルモンの分泌を促すのかも知れない。かくて第一夜は楽しく更けた。

二日目のプランは今を盛りの平清盛ブームに則り、ゆかりの地を散歩し、メリケン波止場、ポートタワー、異人館に灘の酒蔵を見て、六甲山頂をめざす約八時間の行程である。青葉の笛で有名な須磨寺、初対面となる清盛塚、清盛像、奈良、鎌倉と並ぶ兵庫大仏の能福寺等、初めて目にするゆかりの地は新鮮でメリケン波止場の磯の香は幼き日への郷愁を思い出させた。ポートタワーから望む360度に亘る眺望は日本一の名に恥じない素晴らしさで災禍にもめげず毅然と立つその雄姿は神戸市民の誇りであった。異人館から見下ろす異国情緒豊かな神戸の街は我々に時の経過を忘れさせた。灘のキキ酒で気分も高揚したところで、一気に六甲山へ向う。真夏の平均気温が北海道並みにさわやかなこの別天地は、古くから神戸市民の誇るべき一大メッカとなっている。1000米近い山頂からの眺めは実に雄大ではるか遠く紀伊半島、淡路島が見渡せる。今、話題騒然の東京スカイツリーも、六甲の比ではない。僅か30分の行程で東京の軽井沢が実現するこの地、温泉も近い神戸を平清盛が愛し、遷都を夢見たのも成程と頷ける。

夕陽も迫る頃、一泊組七名を見送り最後の夜となる名門六甲山ホテルに向う。皇族方の往訪もあったこの優雅でクラシカルなホテルから臨む神戸の夜景は又別格で、運ばれたフランス料理を前に盡きせぬ話題で盛り上がった。皆の顔に溢れる若きエネルギーは次回米寿の再会を約すに充分と思えた。

観音4回

野地保夫

私たち観音四回同期会は年号が昭和から『平成』への『年号変更』を機に発足して23周年を迎えました。

今回は「喜寿の会」参加者は、38名。遠方よりの参加者の利便性も考慮し、開会を午前11時としました。

会場は例年通り東白島のK

KRホテル広島とし、広島駅にも近く新幹線利用者にも好評を頂いております。

先ず幹事長の発案で、今日まで想いも叶わず物故者となったクラスメイトと3月11日東日本大震災で犠牲者となられた多くの方々の冥福を祈り黙祷を捧げた後総会に移り、会長の挨拶に続いて松本長司君が「我が家の食生活」と題して発表されました。

同君は数年前に奥さんを亡くされ、現在1人生活されており、身の回り炊事、洗濯から家計まで立派にこなしておられ、特に家計費は得意のパソコンを駆使し管理分析する等、同君の真面目な生活が見えてくる、これから我々も是非参考にしたいものです。

又同君が中心となり、観音四回同期会20年の歩みの記念アルバムを制作し、懇親会においても同君の活躍で話題沸騰したところです。

これからも健康に留意し出来るだけ永く素晴らしい仲間たちとの出会いを大切にし、合わせて観音四回同期会のますますの発展を願っているところです。

観音5回

青山 祐三朗

平成24年6月9日（土）13時～16時

広島県民文化センター（鯉城会館）ルビーの間で、一昨年より4名増の36人（男性24、女性12）の参加を得て開催しました。卒業以来初参加という方も2名おられました。60年弱を経ての再会も、一期一会なればこそ。会費も4千円。年金生活者にはありがたい。同窓会の支援を得て、204通を出状、回答は126通、住所不明が21通、未回答が57通、回収率は51％。マアマアか。とにかく出席者は皆元気、しかも耳が遠くなったのか声高の会話、8割の人の近況報告が時間オーバー。そして飲みに飲んだり、ビール31本、日本酒27本、ウイスキー水割り21杯、焼酎お湯割り14杯、ウーロン茶32杯。

来年もしくは再来年、東京か横浜での開催を関東地区に在住の同期生にお願いし、開始時よりも元気な表情で再会を期して散会した。東京スカイツリーが楽しみです。

その後の観音五回卒「いのしし会」

梶山 喜久男

2005年春待ち号で我々ゴルフ愛好家の集い「いのしし会」を紹介しましたが、今年1月19日設立三十周年を迎えました。この一大エポックに花を添えるに相応しく、正月をもって全員「喜寿」を迎えたという二重の喜びを味わっているところです。

夜出掛けるのが億劫な年になり、昼間にリーガロイヤルホテル広島の32階ルビーの間で、広島城と野球王国広島を支えてくれた旧市民球場の僅かに残るライトスタンドを上から見下ろしながら「三十年」と「七十七歳」を感慨深く振り返りました。

現在会員数は、女性1名を含む17名と少なくなりましたが、体力の衰えを気力で補いつつ、コンペ回数137迄になりました。

年間平均4・5回、取切戦5回、H・D改正5回、開催コース24ヵ所という三十年です。特筆すべきは、何といってもハワイの名門ワイアラエCCで4回もプレーしていることでしょう。前回紹介しましたように、ハワイ在住同級生山瀬憲明君のお陰なのです。

今回はもう一人女性の協力者を紹介します。ゴルフはしませんが、我々自慢と誇りの同級生書道家藤井渓青（ふじいけんせい・旧姓小国雅子）女史です。観音時代書道部に属し、部長としても活躍、その時期の努力が礎となり、現在「日展会友」という地位にあります。今尚自己研鑽いささかの怠りもないこと云うに及ばず、中国新聞文化センター講師として地域の書道芸術発展に情熱を傾注する姿には、唯々頭の下がるところです。そして多忙な合間を縫って「古稀」の時と今回の「喜寿」の2回夫々素晴らしい祝いの色紙（写真参照）を、いのしし会会員に頂いているのです。このように素晴らしい応援のお陰で我々の今日があることを忘れないようにと改めて誓い合ったところです。勿論我々も会の発展に対してそれなりに努力をしてきました。全員が一体感を持ち協調体制を保つ為に。やってきた中で代表として一つ挙げると

すれば、設立二十周年を機に作った会歌「いのしし会賛歌」ではないかと思います。この手作りの会歌はミーティングやその他会合の冒頭には必ず全員で合唱しております。十年以上歌っているうちにこの歌が同級生融和の「絆」をがっちり結んでくれたと確信しております。

「いのしし」は今や公害の代名詞にされています。しかし我々はゴルフ好きな可愛い無公害いのししなのです。どこかのゴルフ場で、可愛い「うりぼう」を刺しゅうした赤い帽子の群体を見かけたら手を振って下さい。

人生最高の長寿という「寿福」を掴むべく一緒に「猪突猛進」しようではありませんか。

観音9回

広兼邦夫

修学旅行以来の横浜を散策しようと9名でミニ同期会を行なった。

案内役は横浜在住の瀧山君と渡部君の役割。5月15日に横浜駅集合、スパゲティで昼食の後シーバス（海のバス）で海上から横浜を見物。生憎の小雨模様だったが、ランドマークタワー頂上付近は雲の中でその高さに歓声を上げた。海上保安庁の巡視船や大型客船、帆船日本丸、客船氷川丸などを海上から眺めた後、海上保安資料館へ。ここは平成13年発生の某国不審船（沈没）を引き上げ展示していて、想像以上に大きいこと、船の外販に銃弾で開けられた穴が無数にあり当時の凄まじさを彷彿され、みんな声もなく眺めていた。

引き続き赤レンガ街、元町を散策し、メインの中華街へ。その夜は、「横浜なら中華料理」と明治創業の老舗料理店でフルコースを注文し、舌鼓を打った。会場では、昔のこと最近の状況など話は尽きず、3時間があっという間に過ぎていった。

その夜は山下公園近くのホテルに泊まり、翌日は和食の朝食後「港の見える丘公園」を散策。続いて「みなとみらい地区」へ移動。

ここは旧三菱横浜造船所の跡地を再開発したもので、昔のドックもそのまま保存されていて、筆者も40年前に仕事で度々訪ねていた場所で、感無量であり、物知り顔でみんなにドックについて　説明をした。

続いて旧2号ドックに保存されている帆船「初代日本丸」へ入り、ボランティアの方から船内を隈なく案内して頂いた。この方は日本郵船の元航海士で、筆者が現役の頃に担当した船にも乗船された模様で、昔話に花が咲いた次第である。

次いで隣接する「横浜みなと博物館」へ入場。ここは横浜開港以来の歴史・産業が良く分かり、「始めて来たけど良かった」とは案内役瀧山渡部両君の感想である。

最後はフランス料理でランチし、次回もまた会おうと東、北、西の方向へそれぞれ帰って行った。

観音21回

板野明子

２０１２年1月8日、観音21回期同期会「還暦の集い」を、エンジェルパルテにおいて開催しました。

1年前から準備を進め、何度も世話人が集まって中味を練り直しました。

当日は、同期生１３０名が集まり、クラス担任や教科担任だった先生方も7名も参加してくださいました。

会は、亡くなられた方々への黙祷に始まり、みんなで校歌斉唱、そしてピアニストになった同期生のショパンの演奏で、一気に華やかなお祝いムードになりました。

来てくださった先生方の中でも最高齢、90歳の北村先生からご挨拶を頂き、我々の中での最高齢（?）が乾杯の音頭をとり、懐かしい顔ぶれに、賑やかな歓談が始まりました。

参加してくださった先生方お一人お一人から、思い出話や人生の先輩としての体験談を話していただき、益田先生の指揮による「ふるさと」の合唱で、みんな生徒に返りました。

アトラクションとして、プロ顔負けの歌声で、ブルースやジャズを聞かせてくれた人もいて会場が沸いたところで、楽しいゲームでさらに盛り上がり、先生方も一緒にみんなでフォークダンスを踊る頃には熱気は最高潮、あっという間に3時間は過ぎていました。肩組み合って「今日の日はさようなら」を大合唱、「マイウェイ」の流れる中、「また会おう」の言葉を残して散会となりました。

会は、二次会、三次会と、翌日まで続いたところもあったようです。

観音34回

寺西泰一

◆平成24年8月11日（土）
◆ホテルグランビア広島
◆出席者数　172人

卒業三十周年を記念に行いました。

観音61回

小林美貴

2012年1月7日に第61期生の同期会が開催されました。当日は、ANAクラウンプラザホテル広島を会場とし、卒業生は296名でしたが、160人の同窓生たちが集まりました。

高校在学中とは環境も変わり、壁にぶち当たることもありますが、それぞれが自分の目標に向かって頑張っていました。また、会の最初から最後まで笑い声や話し声が耐えず、男女ともに仲がよくて、とてもいい雰囲気の中で時間が進んでいったように思いました。卒業して二年が経とうといていますが、参加した全員が改めて観音高校でよかったと口々に言っていました。後輩のみなさんにも、私たちのように観音高校でよかったと思えるような学校生活を送って欲しいです。

音楽部OB合唱団

広島と東京公演を終えて

永井理恵

広島観音高校音楽部は、恩師益田遙先生のもとに集い、合唱団を立ち上げて11年が経過しました。この間、毎年広島の地で「レクイエム『碑』」を中心に祈念コンサートを続けてきました。

本年度は7月29日、広島県民文化センターにおいて、午前中は広島観音高校一年生に対してレクイエム「碑」鑑賞会を実施（今年で3回目）した後、午後には二部構成で公演を行ないました。原爆により未来を断たれた広島二中の生徒やご遺族の皆様を思い、歌い手も感動をいただきながら大切な曲を演奏させていただきました。

ただ、今年はそのご報告だけでは終わりません。かねてより話にあがっていた県外での公演を実現し、8月5日、私たちは東京の津田ホールのステージに立つことができました。東京公演は三部構成です。一部は広島二中と広島観音高校校歌、ひろしま平和の歌などを披露しました。二部では、観音3回の蒔田尚昊先生作曲、観音27回でOB合唱団員である半田信司さん作詩の組曲「碑のねがい」全5曲を聴いていただきました。さらに両氏による新しい委嘱曲「きみの笑顔により添って」を初演することができました。この曲は昨年の東北大震災を目の当たりにし、作られた一曲です。そして三部では、OB合唱団としては初めて広島の地以外で歌うレクイエム「碑」を心を込めて演奏し、被爆地ヒロシマからのメッセージを届けました。演奏会後には、在京の同窓生や「いしぶみ」をご存知ない方からも「よかったですよ」「感動して涙が止まりませんでした」との声をいただき、県外公演への躊躇や不安な気持ちが一気に消えました。この成功は同窓会をはじめ、ステージ・受付等で東京公演を支えてくださった皆様のお陰と感謝し尽せません。

私は観音31回生として、また現在はOB合唱団員として、また現在は広島観音高校の教員として、この取組みにかかわらせていただいています。ただ、きっかけを問われれば、中学生の時に憧れを持って聞いた広島観音高校音楽部によるレクイエム「碑」の演奏です。それを考えると、現役生への鑑賞会、毎年必ず開く公演で、一人でも多くの人にレクイエム「碑」を聴いていただき、たくさんの〝種〟がいつの日か大きな平和の杜を作ることに繋がればよいと願っています。

平成25年度は7月28日(日)に広島県民文化センターにて広島公演を実施します。是非、ご来場ください。

指揮
益田　遙先生
ピアノ
奈良康佑さん（観29）
半田文代さん（団員関係者）
前田桂子さん（観26）
生徒への講話
山本定男さん（中23）
広島公演の朗読
里　博康さん（観19）
東京公演の朗読
蒔村三枝子さん（観23）

教育実習生

今年度も、本校卒業生で、教員免許状の取得を目指す九名の「教員の卵」を本校にお迎えした。彼等の在学中に、サッカー部のインターハイ全国優勝や学力向上対策重点校の指定をうけるなど、観音高校が、文武両道の実践に向けて燃えていた時期である。勉強と部活動の両立に四苦八苦している在校生に、自分たちの実践を熱く語っていた。さわやかな教育実習生たちであった。

第64回　観音祭

6月15日(金)、16日(土)「破顔溢笑」(はがんいっしょう)をテーマに観音祭が開催されました。このテーマには、溢れる笑顔で顔をほころばせるという意味があります。観音祭に関わるすべての人々が笑顔でいてほしい、笑顔が校内に満ち溢れるすばらしい観音祭になるようにという思いが込められています。今年も伝統を受け継ぎながら、企画から運営まで生徒会執行部を中心に各クラス、クラブ、同好会、ＰＴＡ全体で協力して行うことができました。

初日は校内公開。今年も書道部による観音祭テーマのデモンストレーションと吹奏楽部のファンファーレにより盛大にスタートしました。書道部による文化祭テーマの大書揮毫は、ブラックライトを利用したもので、例年の発表とはまた違った趣のあるものでした。開会行事に、続いて吹奏楽部演奏やＯＢ合唱団による素晴らしい合唱があり、その後全学年クラス対抗による合唱コンクールが行われました。どのクラスも放課後クラス全員が集まることが時間的に厳しい中、何日も早朝から練習を重ね、当日は体育館いっぱいに歌声を響かせてがんばりました。観音大賞には、3年6組の「虹」が選ばれました。

二日目は一般公開。文化系クラブなどによる体育館での上演、校内では1年生各クラスの巨大展示物、2年生各クラスの参加型展示物（アミューズメントパーク）発表、文化系クラブなどによる活動発表やＰＴＡによるバザー、正門付近・中庭では3年生による模擬店などもあり、それぞれ趣向をこらした取り組みでした。二日目は、あいにくの雨天でしたが、大勢の人が訪れてくださり大盛況でした。

笑顔が溢れる観音祭2日間で、生徒の教育活動の成果を多くの人々に見ていただくことができました。伝統をもとに今後もさらに視野を広げて、未来につながる新しい風を感じる活動内容へと発展させていきたいと思います。

定時制文化祭

今年度の定時制の文化祭は6月23日（土）、『きらきら☆「観定」というテーマのもとに開催されました。テーマには「一人一人が輝けるように」という思いが込められ、テーマ看板は生徒全員の手形を貼り合わせて作成されました。

展示発表の部では、今年も各教室会場に美術選択者のスケッチやイラスト、イラストアニメ部のイラスト、書道選択者の作品、家庭科研究で作成されたトイレットペーパーホルダーなど、数々の力作が展示されました。そして一段とグレードアップしたステージ発表。暗闇の中で書く文字が浮き上がるように光るという趣向を凝らした書道選択者のパフォーマンスや様々な楽器を使った音楽選択者の演奏、バトン演技やよさこいソーランが次々と披露され、拍手喝采を浴びていました。伝統となりつつあるよさこいソーランは、ぜひ来年以降も継承していってほしいところです。

その他生徒によるギター演奏や今年赴任された久保田先生によるプロなみのギターと歌、最後にビンゴゲームとＰＴＡ主催のじゃんけんゲームで大いに盛り上がりました。

ステージの後はＰＴＡの食品バザー・物品バザーを楽しみ充実した半日となりました。

祝
創立 90 周年
芸陽観音同窓会
ANAクラウンプラザホテル広島
〒730-0037 広島市中区中町7-20
TEL.082-241-1111(代表)
www.anacrowneplaza-hiroshima.jp

スポーツ用品は
7体育社
http://www.taiikusha.co.jp/
【本店】
広島市中区三川町 7-5
TEL (082) 246-1212
【外商部】
広島市西区三滝町 18-4
TEL (082) 230-4488

祝 創立 90 周年
和洋子ポコンの絆
90年の時代(とき)を超えて
たくさんのご協賛を頂き、
心より感謝申し上げます。
平成 24 年度芸陽観音同窓会実行委員会

阪本 貢
(観音 14 期)
いつも笑顔のおつきあい
(有)庚午不動産サービス
広島市西区庚午中 1 丁目 20-23
TEL 082-273-9861
FAX 082-273-9831

池田 友邦
(観音 14 期)
環境に優しい安全で安心な物づくり
イケダ株式会社
軟包装衛生協議会認定工場
広島本社
〒733-0833 広島市西区商工センター7丁目5-42
TEL082-277-2311(代)
FAX082-277-2349
廿日市工場・福岡営業所
ISO 9001:2008認証
URL http://www.eikeda.jp/

総合仕上工事業
一級建築士事務所
株式会社 ティーエス ハマモト
〒731-0135 広島市安佐南区長束 4 丁目 16-2
TEL 082-238-1511 FAX 082-238-1513
取 締 役 濵 本 俊 樹 (観音 13 期)
常務取締役 児 玉 勝 征 (観音 12 期)
URL http://www.ts-h.co.jp ISO9001:2000 認証取得

吉永 利行
(観音 21 期)
行政書士
吉永事務所
広島市西区己斐上三丁目26番1号
TEL082-273-3790
FAX082-273-3789
yosinaga@sight.ne.jp

重量物据付解体、機械器具・空調機設置
輸送クレーン工事、工場の引っ越し・レイアウト替え
(株)橘運送店
栗原(橘)良子 (観音 21 期)
733-0035 広島市西区南観音 1-8-31
電話082-232-1487

La Sana
健やかな美しさのために
洗い流さない髪のトリートメント
全国 4 年連続売上シェア No.1
ヘアケアシリーズ スキンケアシリーズ アロマシリーズ
化粧品 製造販売元
株式会社ヤマサキ
本 社：広島市中区舟入本町 3-7
東京支店：東京都渋谷区渋谷 3-7-10 アサヒビル 4F
http://www.lasana.co.jp/
ラサーナ 検索

祝
創立90周年 芸陽観音同窓会
CORE 株式会社コア
新たな価値の提案
http://www.core.co.jp

田中岳子(観音 26 期)
(旧姓 有吉)
創業 111 年のふりかけ専門メーカー
ふりかけ旅行の友でおなじみの
田中食品株式会社
広島市西区東観音町 3-22
TEL 082-232-1331
FAX 082-231-7521
(HP)http://www.tanaka-foods.co.jp

医療法人 せいざん
事務長 久保田 博 (観音 20 期)
青山病院(内科・リハ科・人工透析) 呉市阿賀北五丁目 15-3
TEL.0823-71-0151 FAX.0823-74-2711
介護老人保健施設 あおやま 呉市阿賀北六丁目 15-30
TEL.0823-76-3311 FAX.0823-76-3310
小規模多機能ケアホーム あおやま 東広島市西条町田口 1053-1
TEL.082-420-2557 FAX.082-420-2558
玉川先生のご逝去を悼み、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

田坂(楠家)忍
(観音 28 期 D 組)
地物活魚 やさい くだもの
(有)なんけ
安芸郡府中町本町 4 丁目 9-8
Tel/Fax 082-282-0494

株式会社ひろし工務店
広島市西区南観音 1 丁目 12-30
TEL 082-231-6730
FAX 082-294-1144

田中 一範 (観音 28 期 A 組)
田中倉庫運輸グループ
田中倉庫運輸(株) 代表取締役
(株)寺 田 商 会 代表取締役
(株)田中一商事 取締役
TANAKA WAREHOUSE & TRANSPORTATION CO., LTD.
〒733-0832
広島市西区草津港1丁目7－2
TEL082-277-8779 FAX082-278-6488
http://www.tanaka-group.com

平松　恵一
（観音 10 期）
医療法人社団まりも会 ヒロシマ平松病院
広島市南区比治山本町 11-27
（電話）082-256-3650　（FAX）082-256-3670
サテライト施設
銀山町ヒロシマ平松整形外科・外科
広島市中区銀山町 2-19
（電話）082-241-2106　（FAX）082-245-8819

広島観音高等学校卒業
モルテン会
有志一同

広島戸坂新町郵便局
局長
向 井 則 之
広島市東区戸坂新町 1-5-1
Tel 082-229-5360
Fax 082-229-3594

損　害　保　険　代　理　店
アメリカンファミリー生命保険代理店
西和興産株式会社
古屋 由利子（観音 13 期）
〒733-0007 広島市西区大宮 1 丁目 27 番 4 号
Tel 082-238-9100　Fax 082-237-4493

サッカー部 OB 会

TKC
山本哲生税理士事務所
山本哲生
（観音 18 期）
広島市西区庚午北 3 丁目 20-30-4 階
TEL 082-507-3900
FAX 082-507-3901

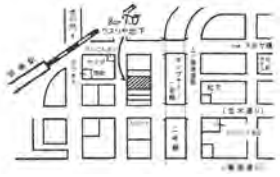
医療法人 三 永 会
理事長　山 崎 正 数（観音 20 期）
山崎神経科内科医院　東広島市西条栄町 10-27
☎082-421-1480 http://www.yamasaki.ne.jp
京橋心療クリニック　広島市南区京橋町 1-2
☎082-262-3000 http://www.kyoubashi.jp

平林 一郎
（観音 26 期）
医療法人 千寿会
平林内科小児科医院
広島市西区南観音 6 丁目 1-6
TEL082-293-2700
FAX082-293-2701
senjyukai6@w4.dion.ne.jp

勝谷　英夫
（観音 24 期）
漢方専門
勝谷漢方薬局
広島市西区庚午北 3 丁目 21-2
Tel 082-271-3426

Medical Corporation Itsuki Dental Group
医療法人社団 樹会
理事長　深井 直樹（観音 27 期）
袋町深井歯科医院　広島市中区袋町 6-42-5 階　TEL.082-247-2788
芸北深井歯科医院　山県郡北広島町川小田 199　TEL.0826-35-1184
戸河内廣安歯科医院　山県郡安芸太田町上殿 1862-1　TEL.0826-28-2552
筒賀廣安歯科医院　山県郡安芸太田町中筒賀 1893　TEL.0826-32-2230

山本　匡（観音 29 期）
医療法人ながつき会
山本皮膚科医院
〒733－0031 広島市西区観音町 15－1
TEL082-231-1177
FAX082-231-2656
http://www.yamamoto-hifuka.jp/

Bar T.O

〒105-0004 東京都港区新橋 1-4-3 芝ビル
TEL 03-5537-0546

VENUS ARROWS DIAMOND
ビーナス アロー ダイヤモンド（株）
代表取締役 高 橋 文 夫
（観音 28 期 C 組）
東京都台東区台東4-9-3豊ビル7F　TEL 03-5817-0006 FAX 03-5817-0007
E-mail：fumio.takahashi@venus-arrows.com
www.venus-arrow.com　Antwerp BELGIUM-Tokyo JAPAN

田中（友田）由利子
（観音 28 期 E 組）
フラワーショップ アトリエブーケ
Atelie Bouquet
広島市安佐南区相田 1-14-26
Tel/Fax082-847-1287

Midori no fuukei
NPO法人緑の風景
ハーブ&アロマ
高松（佐々木）雅子
（観音 28 期 E 組）
広島市安佐北区落合南 3-32-17
Tel/Fax082-843-9960

内科・消化器科・外科・肛門科
ながしま クリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:30	○	○	○	○	○	○
14:30~18:00	○	○	／	○	○	／

○休診：・・日曜日・祝日・土曜午後・水曜午後

来春 リニューアルオープン

院長 永嶋 潤
広島市佐伯区吉見園2－22
Tel.082-922-2151 Fax.082-924-2627

整形外科部長 永嶋 寛（兄 観音28期 E組）

医療法人 帰巌会 帰巌会みえ病院
〒879-7111 大分県豊後大野市三重町赤嶺1250番地1
TEL:(0974)22-2222 FAX:(0974)22-0222

NPO法人
乳がん患者友の会きらら
理事長 中川(新谷)けい
(観音28期G組)

胸にしこりをみつけた瞬間、
「乳がん」と告知されたその瞬間から、
私たち「きらら」はあなたを支えます。

住所：広島市中区三川町1番20号ピンクリボン39ビル8階
電話：082-247-0020 メール：kirara@g-town.co.jp
http://www/g-town.co.jp/kirara/

すべてのがん種のがん患者さんとご家族のためのナビダイヤル
フレンドコール
(注)医学的あるいは専門的な内容についてのご相談に関して対応するものではありません。

082-247-0080
受付時間:毎週水・木曜日 11時～16時
(祝祭日・年末年始・夏季休業を除く)

NPO法人広島がんサポート
副理事長 中川(新谷)けい
(観音28期G組)

住所:広島市中区三川町1番20号
ピンクリボン39ビル8階
電 話:082-544-3770
メール:info@hiroshima-cs.jp
http://www/hiroshima-cs.jp/

蓮池光子先生の
魂よ、永遠なれ!

3年D組
(観音28期)

D組有志一同

江田 弘通（観音28期F組）

心の映像カタチにします。
総合建設業

株式会社 栗本 株式会社クリケン 株式会社クリショー

〒733-0035 広島市西区南観音7丁目14-20
TEL 082-293-8500 TEL 082-503-5858 TEL 082-292-2355
FAX 082-295-8231 FAX 082-231-2299 FAX 082-292-2395
http://www.kurimoto-gr.co.jp

訃報に寄せて

貴会のご活躍心よりお喜び申し上げます。

よくご存知のこととは存じますが、昭和44年卒岩本良文君（漫画家和田慎二）が平成23年7月5日亡くなられました。彼とは、宇佐美俊夫君（九州大学工学部卒三井住友化学入社太陽光発電にて活躍）と私（阪大歯学部卒開業）の3人が1年H組で一緒になり、不思議に気が合いいつも3人で行動しトイレまで一緒、金魚の糞といわれていました。

ある時、彼が「僕は、漫画家になる、東京に行く。名前は和田慎治（当時は慎二ではなかった）。いつか全国に和田慎治の名前を広める。その時は僕と思ってくれ」と熱く語ってくれました。

つまり、自分の進路に悩み、広島の繁華街を夜歩いていると、ある易者に呼び止められ悩みを打ち明けると「君は和田慎治しかない。長年易者をやっているが、これが最高の名前だ。これをもって東京に行け。必ず成功する」と諭されたとか。

進学は東海大造形美術、日本でそこだけか漫画を教えてくれる（当時は）、つまり日本で1校しかないのだから東大に行くのと同じ、日本で最高の教えが受けられ、そこで認められれば未来が広がる。

人生を戦術と戦略に例えると、戦術は失敗しても取り返しがきく、戦略レベルの失敗は取り返しがつかない。100万人の受験生が東大を目指すが、僕は自分の将来のため東海大に行く。といって進学しその後の活躍は皆様ご存知のごとく、スケバン刑事等で手塚治虫の後継者といわれていました。

和田慎二 享年61歳、手塚治虫・石ノ森章太郎 享年60歳。

今も、天国で将来の夢を、語っていると思います。合掌

昭和44年卒旧3年B組
飯島攝二

後輩達は今

サッカー部

私たち広島観音高校サッカー部は、スタッフ、選手が「信頼と絆」をモットーに、日々の練習メニューからゲームメンバーに至るまで、主将を中心に選手で行っています。

常に「自主性を尊重する観音サッカー」を追い求めています。

●部員　１１６名、マネージャー４名　計１２０名
●スタッフ　９名（外部スタッフ４名）　総計１２９名
●平成23年度の主な戦績
・第64回広島県総合体育大会サッカーの部　準優勝
・高円宮杯Ｕ18サッカーリーグプレミアリーグウエスト　第９位
・第90回全国高校サッカー選手権広島大会　準優勝
●目標
・日本一魅力のあるチーム作りをテーマに日々努力する。今年のキャッチフレーズは「心で闘え」。
・文武両道の進学校として、クラブを通して人間形成を行う。

サッカー部ホームページ
www.kannonfootball.com

水泳部

広島県内のほとんどの県立高校にはプールがありませんが、観音高校水泳部は自分たちのプールで練習を行っています。一昨年度にプールを改修してとてもきれいになりました。昨年度は岩手インターハイに出場した選手も出ましたが、高校から始めた生徒でも、標準記録を突破して県大会に出場できるように頑張っています。また、リレー種目では過去５年以上中国大会出場を逃したことがない等チームの総合力もあります。個人種目ですが、チームワークの良さが売りの部活です。

放送部

現在部員は３年生４名、２年生３名、１年生２名で、週３回昼食時間に「ポプラ・ブロードキャスティング」という放送番組を校内放送で流しています。また、観音祭・体育祭・吹奏楽部の定期演奏会などの学校行事の際には司会進行をおこなっており、行事をスムーズに行えるよう活動しています。

コンテストにも積極的に参加し、23年度には朗読部門において県大会出場、決勝選出、24年度にはＮＨＫ杯朗読部門県大会出場を果たしました。

観音高校出身のフリーアナウンサー、丸子よう子先生の指導をいただき、現在着々とアナウンス技術を習得しています。また今年は広島音読の会の指導で、原爆詩の朗読ボランティア活動にも参加しています。

放送を聞く全ての人の心に残るような放送を目標として、頑張っていこうと思います。

ＥＳＳ部

現在、部員は12名（男子２名・女子10名）で、毎週月・木曜日に活動しています。主な活動としては、ＡＬＴのＳｔｅｖｅｎ先生とアメリカの話や文化祭での出し物などを英語で会話しています。とにかく英語で発言しよう。英語で自分の言いたいことを言ってみようとしています。今年度は英字新聞を発行してみたいと思っています。本校の行事やＥＳＳの活動内容を英語にしていきたいです。また海外との国際交流も広めていきたいです。

バトントワーリング部

平成19年４月に同好会としてスタートし、念願かない平成23年度より部に昇格しました。現在の部員数は、３年生10人、２年生２人、１年生６人の合計18人で活動しています。

今年の文化祭公演ではみんなで一致団結し、30分間のステージを完全燃焼で終えることが出来ました。不器用でも大丈夫！リズム感なんて関係なし！みんなでやれば自然に体が動きます！

定時制卓球部

卓球部は毎週金曜日にスポーツ会館で練習に取り組んでいます。今年は女子２名が県大会に出場しました。全国大会には出場できませんでしたが、来年こそは男女とも全国大会に出場出来るように頑張って練習していきたいです。

定時制バドミントン部

残念ながら今年度は１年生で活動する部員が一人もいません。２年生の女子２人だけで練習に励んでいます。

これからも、自己の目標を達成することができるように頑張っていきます。

定時制陸上部

女子は６月の県総体で５年連続総合優勝し、男子も２位と健闘しました。毎日の広島スタジアムでの練習に加え、広島県チームの合同練習で士気を上げ、８月に東京で開催される全国大会（７名出場）に向けてがんばりました。その結果、女子１００ｍハードルで５位、男子走高跳２位に入賞し、念願の銀メダルを獲得することができました。

全国大会２位　川原　司

オープンスクール報告

7月26日(木)に，次の日程で行われた。

8：30 ～ 9：00 受付
9：00 ～ 9：30 全体説明会（参加者全員）
9：50 ～ 10：40 体験授業
9：50 ～ 11：20 体験クラブ
9：50 ～施設・授業・クラブの見学
(9：50 ～ 10：40 保護者・中学校教職員対象説明会)
12：00 オープンスクール終了

県の内外から約1,300名の参加者があった。生徒会や先生方・クラブの生徒達の積極的な協力により、観音高校の魅力を大いにアピールすることができた。参加した中学生は、「学校の雰囲気がとても良かった」「生徒が生き生きしている」「土足なのに学校がきれい」「第一志望校にしたい」など、良い印象を持ったようである。来年度の高校入試では、参加した中学生の多くが本校を受検してくれることを期待している。

全体説明会

体験授業

体験クラブ

進路だより

今年度、本校は、県教育委員会から、学力向上を重点的に推進するモデル校(チャレンジハイスクール）の指定を受け、例年以上に様々な学力向上対策に取り組み、進路実績の向上を図っている。

具体的には、進路実現に向けての希望進路別のクラス編成、早朝毎日実施される「朝スタ」（無言学習)、早朝・放課後や長期休暇に実施する進学補習、国立大洲青少年交流の家で実施する学習合宿、大学教授による模擬授業、大学入試センター試験と同形式で実施する校内模試の作成及び実施- 合同学習合宿（江田島）社会人や予備校関係者によるキャリア講演会、卒業生による合格体験報告会、広島大学オープンスクールへの学年単位での参加など、プロジェクトを継続実施している。

今春の進路実績は、国公立大学現役合格者43名、広島大学現役合格者6名、過年度生では名古屋大学に合格した卒業生もいる。

広島市立大学に進学した生徒の中には、入学生を代表して宣誓をした生徒もいる。また、私立大学の現役合格者数は284名（延べ）、短大は22名（うち公立短大一名）であり、よく頑張ったと言いたい。

現役3年生も、よく努力している。「二中魂」を胸に秘め、希望する進路の実現を達成してほしい。

母校からのお便り　本年度クラブ実績

★囲碁・将棋部

第 48 回全国高校選手権広島県大会
男子個人Ａ級　(42 名参加)　ベスト 4　小髙慎之輔

★美術部

授業選択者を含みます
第 36 回広島県高等学校総合文化祭
第 27 回ポスターコンクール　「入選」
　3 年　土屋遥菜　3 年　山下有希
第 65 回広島県高等学校総合体育大会　ポスター・バッジ図案コンクール
「ポスターの部　入選」 3 年　上田祥子　3 年　三笹紀京
「バッジの部　特選」 2 年　川上修平
「バッジの部　入選」 2 年　加治慈海　2 年　清水智貴
　2 年　藤川万莉子　2 年　木村帆南海

★水泳部

第 65 回広島県高等学校総合体育大会　競泳の部
　男子総合 3 位
男子 800m 自由形リレー　2 位（安田・藤本・田辺・森川）
男子 400m 自由形リレー　5 位（安田・藤本・田辺・森川）
男子 400m メドレーリレー 5 位（安田・藤本・田辺・森川）
男子個人
　田辺雄大　100m バタフライ　2 位　200m バタフライ　2 位
　藤本益之介　1500m 自由形　2 位　400m 自由形　3 位
女子個人
　高橋幸恵　200m 背泳ぎ　6 位
平成 24 年度広島県高等学校選手権水泳競技大会（競泳）
　男子総合 3 位
男子 800m 自由形リレー　2 位（安田・藤本・田辺・森川）
男子 400m 自由形リレー　4 位（安田・藤本・田辺・森川）
男子 400m メドレーリレー 6 位（安田・藤本・田辺・森川）
男子個人
　田辺雄大　100m バタフライ　4 位　200m バタフライ　2 位
藤本益之介　1500m 自由形　4 位　400m 自由形　5 位
森川勝矢　200m 自由形　8 位
女子個人
　高橋幸恵　100m 背泳ぎ　6 位　200m 背泳ぎ　8 位
第 60 回中国高等学校選手権水泳競技大会（競泳）
男子 800m リレー　4 位　　（田辺・森川・安田・藤本）
400m リレー　8 位　　（田辺・森川・安田・藤本）
男子個人
田辺雄大　　200m バタフライ　5 位　　100m バタフライ　7 位

★吹奏楽部

第 53 回広島県吹奏楽コンクール高等学校小編成部門　銅賞

★パソコン部

第 59 回全国高等学校ワープロ競技大会広島県予選
個人の部　第 4 位　野々内はるひ
　第 5 位　岡本知行

★サッカー部

第 65 回広島県高等学校総合体育大会準優勝
大会優秀選手　塩谷和哉・塚川孝輝・髙橋純平・日高大・川﨑雄太

★女子バスケットボール部

第 65 回広島県高等学校総合体育大会準優勝
大会優秀選手　高下侑風

★陸上部

第 65 回広島県高等学校総合体育大会
　女子走り幅跳び　第 4 位（5m34）　3 年　山田恵理華

★定時制陸上部

県総体　【女子】　総合第 1 位
100m　　1 位　フェラン・ナザレ（3 年）
100m ハードル　1 位　土手中　愛（3 年）
走幅跳　　2 位　フェラン・ナザレ（3 年）
　　3 位　大藤　裕美子（3 年）
砲丸投　　1 位　土手中　愛（3 年）
　　3 位　志茂　里佳（4 年）
円盤投　　2 位　志茂　里佳（4 年）
【男子】　総合第 2 位
100m　　3 位　川原　司（2 年）
1500m　　3 位　櫻田　雄也（3 年）
400m ハードル　2 位　三村　竜司（4 年）
　　3 位　林　宏和（3 年）
走高跳　　1 位　川原　司（2 年）
第 47 回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会
男子　走高跳　2 位　川原　司（2 年）
女子　400m ハードル　5 位　土手中　愛（3 年）

★定時制バドミントン部

県総体　【女子】　ダブルス　泉尾　由貴・白井　真優　組　　第 3 位

同窓会の平成 24 年度主な活動

（平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日まで）

平成 23 年		
10 月 4 日	常任理事会	同窓会館会議室
10 月 13 日	会計監査	同窓会館事務室
10 月 13 日	慰霊式	母校慰霊碑
10 月 13 日	第 2 回理事会	同窓会館会議室
11 月 12 日	芸陽観音同窓会総会・懇親会	ANA クラウンプラザホテル広島
平成 24 年		
1 月 25 日	総務・財務・広報委員会	同窓会館事務室
1 月 28 日	平成 23 年度同窓会報告会（観音 27 回）	同窓会館会議室
2 月 10 日	常任理事会	同窓会事務局
2 月 29 日	同窓会入会式	母校体育館・多目的教室
4 月 1 日	母校人事異動	
4 月 24 日	常任理事会	同窓会館事務室
5 月 12 日	事務局会議・役員会・歓送迎会	ANA クラウンプラザホテル広島
5 月 25 日	総務・財務・広報委員会	同窓会館事務室
5 月 28 日	教育実習生を励ます会	同窓会館会議室
7 月 3 日	総務・財務・広報委員会	同窓会館事務室
7 月 9 日	役員と事務局員の懇談会	同窓会館事務室
7 月 9 日	常任理事会	同窓会館事務室
7 月 18 日	広報委員会	同窓会館事務室
7 月 19 日	第 1 回理事会	同窓会館会議室
8 月 1 日	広報委員会	同窓会館事務室
8 月 5 日	原爆慰霊祭準備	原爆慰霊碑・母校
8 月 6 日	原爆慰霊祭	原爆慰霊碑

平成 24 年度その他の活動報告

（平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日まで）

平成 23 年		
10 月 15 日	在京芸陽観音同窓会	銀座 PP サロン
10 月 15 日	観音 4 期会総会	KKR 白島
11 月 18 日	観音 11 会総会	
11 月 30 日	県庁・市役所ポプラ会懇親会	ひろしま国際ホテル
平成 24 年		
1 月 7 日	観音 61 回同期会（祝成人）	ANA クラウンプラザホテル広島
1 月 8 日	観音 21 回還暦同期会	エンジェルパルテ
1 月 19 日	観音 5 回「いのしし会」	リーガロイヤルホテル広島
2 月 6 日	あやぐも会	リーガロイヤルホテル広島
2 月 18 日	二中 23 回同期会	ANA クラウンプラザホテル広島
4 月 22 日	二中二二会	リーガロイヤルホテル広島
4 月 29 日	二中 25 回同期会	広島県民文化センター
5 月 12 日	二中 19 回総会・懇親会	リーガロイヤルホテル広島
5 月 15～16 日	観音 9 回	横浜
5 月 20～21 日	観音 5 回（ネギの会）	神戸
6 月 9 日	観音 5 回同期会	広島県民文化センター
7 月 5 日	市役所ポプラ会	ひろしま国際ホテル
7 月 17 日	観音 5 回同期会	広島県民文化センター
7 月 29 日	OB 合唱団祈念コンサート	広島県民文化センター
8 月 5 日	OB 合唱団祈念コンサート東京公演	津田ホール
8 月 11 日	観音 34 回同期会	ホテルグランヴィア広島
	各クラス会	各所

平成23年9月〜平成24年8月

旧職員　朝川昭七
旧職員　鯡川宏浩
旧職員　津田義則
旧職員　中洌正堯
旧職員　加藤絹子
旧職員　伊藤守夫
旧職員　伊藤弘
旧職員　伊田行雄
旧職員　安森潔
旧職員　佐藤亨
旧職員　池田恭仁子
旧職員　船倉禎
旧職員　清水道子
旧職員　渡辺輝房
旧職員　櫟原美佳子
旧職員　佐々木宏二
旧職員　密山隆之
旧職員　福永明人
旧職員　壷岐芳雅
旧職員　有田迪美
旧職員　田川澄子
旧職員　桑井泰彦
旧職員　松本満之
旧職員　藤井宏
旧職員　益田遙
旧職員　衆樹達彦
旧職員　久傳昌典
旧職員　灘尾正樹
旧職員　光成洋
旧職員　向井景昭
二中4　矢的武雄
二中5　亀田満
二中8　山崎舜一
二中9　倉本憲房
二中10　追田章
二中11　海老村守
二中11　谷司

二中12　伊藤得平
二中12　津川薫
二中12　松浦五郎
二中12　金川昇
二中13　高田修
二中13　松島喬郎
二中14　大久保利夫
二中14　佐竹良春
二中14　高木督夫
二中14　星山泰信
二中14　森本敏弥
二中15　熊谷三兵衛
二中15　清水正道
二中15　田中正己
二中15　田中克之
二中15　宮本昂
二中15　天野春巳
二中15　中村賢三
二中16　伊東幸雄
二中16　巌隆吉
二中16　小川純甫
二中16　大本志摩生
二中16　落合一郎
二中16　小泉信
二中16　小島守
二中16　山本光俊
二中16　前濱卓尓
二中16　柳川清
二中17　板岡允
二中17　植田登
二中17　胡子英幸
二中17　川崎利秋
二中17　金山光貞夫
二中17　近藤曉
二中17　世良事
二中17　高山謙三
二中17　正岡吉則

二中17　三島久人
二中17　山川節夫
二中17　山本之行
二中17　天野友直
二中17　鹿嶋亨
二中18　加藤啓三
二中18　勝矢雅治
二中18　正藤高之
二中18　中野進
二中18　塗谷貫二
二中18　渡辺寛
二中19　石居義隆
二中19　今田貴隆
二中19　川渕龍彌
二中19　河野圭三
二中19　河野憲生
二中19　山下怜
二中19　藤山廣美
二中19　中槙健三
二中19　野村和夫
二中19　堀越義延
二中19　望月義久
二中19　上杉光道
二中19　中島広照
二中19　古元成生
二中19　三上純一郎
二中20　武田晴児
二中20　出口正一
二中20　土井博
二中20　野坂元良
二中20　槇田辰昭
二中20　村上正昭
二中20　山岡弘之
二中21　岩永陽輔
二中21　小田盛斗
二中21　岡村利通
二中21　松山五郎
二中21　菅原一郎
二中21　竹本英雄
二中21　古谷晙太郎
二中21　山崎基定
二中21　溝上順一郎
二中22　出原章
二中22　上杉襄一
二中22　岡本貢壮
二中22　小田正信
二中22　神田和正
二中22　亀井賢伍
二中22　大西恭三
二中22　木村繁夫
二中22　國武誠志
二中22　國光健
二中22　清水方允
二中22　重清孝明

二中22　城田義和
二中22　須田寛
二中22　諏訪哲雄
二中22　末岡恒美
二中22　中井成美
二中22　中村博
二中22　中元清純
二中22　平池嘉啓
二中22　藤井史郎
二中22　藤田忠三
二中22　藤森義明
二中22　湊徳夫
二中22　西本拓夫
二中22　吉田勝一
二中22　米田昌三
二中22　中本弘
二中22　山口恭弘
二中22　平木眞信
二中22　青木全
二中23　尾田尚武
二中23　倉本傳
二中23　河田嗣郡
二中23　絹原秀夫
二中23　国重昌弘
二中23　田口昭吾
二中23　谷口彰美
二中23　中本恵
二中23　新出稔雄
二中23　平本善一
二中23　溝西護
二中23　米田璞
二中23　久保田宏温
二中23　中島慶一
二中23　文字勤
二中24　二野宮聡明
二中24　出口淳
二中24　森脇巌
二中25　荒川弘之
二中25　伊藤康生
二中25　加藤幹二
二中25　川口寛
二中25　記谷好彦
二中25　久保田正志
二中25　佐々木伸博
二中25　田妻正吉
二中25　中田博之
二中25　棟田晃
二中25　玉木一二
二中25　坪井崇
観音1　岡本昇三
観音1　影澤陽子
観音2　平野貞男
観音2　清宗勢知子
観音2　阿久根敦子

観音3　石井秀夫
観音3　高田昭一郎
観音3　堂元一男
観音3　長門利雄
観音3　山廣恵
観音3　吉村隆幸
観音3　柳田千幸
観音3　小笠原順子
観音3　山本豊子
観音3　柳田照子
観音3　槙田美保子
観音3　土井照代
観音4　吉川富士男
観音4　片桐信穆
観音4　松永良雄
観音4　故 徳永聡
観音4　橋本三千司
観音4　伊藤茂宏
観音4　安藤幸代
観音4　伊達優子
観音4　新保甲五
観音4　末本節夫
観音4　土屋栄一
観音4　野地保夫
観音5　吉良正志
観音5　廣藤義昭
観音5　三谷吉秀
観音5　井関雅子
観音5　近藤才子
観音5　上野顕男
観音5　隠塚明
観音5　石丸敏之
観音5　冨松昌太郎
観音5　沖野孝男
観音5　久永平治
観音5　竹林地英
観音5　伊藤忠道
観音5　大谷俊晴
観音5　渋谷圭次郎
観音5　岩戸好子
観音5　青山祐三朗
観音5　河村満
観音5　今田孝平
観音5　柄本重信
観音6　今坂譲
観音6　長尾俊明
観音6　宮崎正毅
観音6　戸田美幸
観音6　吉山玲子
観音6　中澤晶子
観音6　平田博義
観音6　反田順子
観音6　猪野幸夫
観音6　住川幹雄

観音6　米田喜高
観音6　奥田榮
観音6　川中毅
観音6　佐々木哲郎
観音6　柴田勉
観音6　高山俊治
観音6　畑幹夫
観音6　佐伯好子
観音6　祖田勝美
観音6　加藤英海
観音6　槇田弘二
観音7　橋口修一
観音7　緑道昭
観音7　宮川京子
観音7　小川慧子
観音7　桑原利之
観音7　中桶悟光
観音7　吉田肇行
観音7　土井英輝
観音7　柳田陽子
観音7　伊藤長司
観音7　小田勇司
観音7　後藤征治
観音7　世木田正治
観音7　堀健男
観音7　山根学
観音7　大谷宗義
観音7　田邊賢壮
観音7　寺本昇
観音7　築本國治
観音7　斎木勝司
観音7　宝見一郎
観音7　兼山宥二
観音7　兵庫敏文
観音7　井上桂子
観音7　西隆行
観音8　宇都宮浩三
観音8　大田隆郎
観音8　根本久美子
観音8　荒井泰樹
観音8　佐伯哲也
観音8　田賀康治
観音8　中野晨作
観音8　松沢隆司
観音8　安達信三郎
観音8　梅田義徳
観音8　沖本憲弘
観音8　楠部フジエ
観音8　高橋節子
観音9　浜野照美
観音9　越間建二
観音9　瀧山昇
観音9　山野真純
観音9　渡部徳義

観音9　高橋猛
観音9　藤井弘泰
観音9　浜田悦子
観音9　向井祐子
観音9　岩鼻久子
観音9　西田忠継
観音9　広兼邦夫
観音10　佐伯文志
観音10　隅田肇
観音10　福尾政道
観音10　三満泰彦
観音10　平松恵一
観音10　吉田美紀子
観音10　馬本典紀
観音10　平崎敏彦
観音10　三宅省三
観音10　菅江玲子
観音10　岡野佐智子
観音10　山根華子
観音10　島田雄輔
観音10　山本美智恵
観音10　河面博久
観音10　山崎輝幸
観音10　近藤康子
観音10　千葉典子
観音10　日野由紀子
観音10　斎隆
観音10　広崎行博
観音10　奥本泰生
観音10　渋谷建紀
観音10　田中完事
観音10　古城保枝
観音10　竹本寿宏
観音11　牧原正
観音11　植田昌子
観音11　浮田萌男
観音11　藤井明
観音11　松本良子
観音11　舛田静夜
観音11　山田登美子
観音11　清水翠
観音11　奥武史
観音11　杉中浩一郎
観音11　田中秀穂
観音11　橋本紀宣
観音11　埣本瑛子
観音11　森脇峻一郎
観音11　古川和恵
観音11　原田紀世
観音11　横田由貴子
観音11　花井隆爾
観音12　藤井幸恵
観音12　横田泰明
観音12　岩崎邦子

観音12　礒貝哲子
観音12　亀本祐治
観音12　田部昌子
観音12　長谷川文子
観音12　石井健五
観音12　匿名
観音12　河野喜己子
観音12　児玉勝征
観音12　松岡幹太郎
観音13　香川穂積
観音13　小林信博
観音13　河野和子
観音13　岩崎千鶴子
観音13　杉本侯男
観音13　成末孝晴
観音13　柚山剛
観音13　三好恵美子
観音13　神田隆至
観音13　土居将憲
観音13　古屋由利子
観音13　松山須美子
観音13　佐伯紗代
観音13　佐々木朗子
観音13　山野立男
観音14　佐伯博行
観音14　伊藤暢次
観音14　古田正雄
観音14　吉田只五郎
観音14　佐伯陽子
観音14　中村勝子
観音14　片岡茂樹
観音14　永田浩敬
観音15　有岡康毅
観音15　河野芳郎
観音15　中山正子
観音15　宮原頌篁
観音15　林澄江
観音15　有田進治
観音15　児玉民子
観音15　津久井道子
観音16　長野間宏
観音16　片田元己
観音16　遠山愛子
観音16　今田浩子
観音16　田中孝男
観音16　埣本朋子
観音16　中村達子
観音16　横山眞二
観音16　新宅快野
観音17　達川秀男
観音17　重本広美
観音17　梅木富明
観音17　大坂妙子
観音17　多田利男

観音17　岡本義次
観音17　安原克規
観音17　玉井睦章
観音17　永山成一
観音17　行岡領太郎
観音17　久保田和雄
観音17　児玉寿枝
観音17　松浦良子
観音17　白銀万里子
観音17　福原美恵子
観音17　村上麗子
観音17　野村敏之
観音18　村田信介
観音18　半田絹江
観音18　窪田亮二
観音18　内田幸男
観音18　川口知尋
観音18　久保田裕二
観音18　松本謙
観音18　弘津彰子
観音18　井原真知子
観音18　内野寛
観音18　大城秀夫
観音18　大堂幸紀
観音18　原敏幸
観音18　飯島護丈
観音18　本田諭
観音18　内冨幸司
観音18　川崎信明
観音18　小原一成
観音18　山崎雅信
観音18　冨田洋道
観音18　中尾真澄
観音19　平原信一
観音19　芦矢貢伸
観音19　川上直子
観音19　池谷富栄
観音19　植田英雄
観音19　清水京子
観音19　相野田博之
観音19　佐伯幸生
観音19　三浦泰明
観音19　岡田健
観音19　中津博
観音19　大野房子
観音19　三好昭裕
観音19　由元弘子
観音19　大西博臣
観音19　河野喜美子
観音19　平田和文
観音19　青木博
観音20　田中義一
観音20　金児由宇子
観音20　北河修治

観音20　富山純次
観音20　安部敏子
観音20　吉川鈴子
観音20　藤原美岐子
観音20　中野克樹
観音20　松原邦雄
観音20　河村純子
観音20　佐々木よし子
観音20　倉成由美子
観音20　中村敏樹
観音20　斉藤登
観音20　山瀬克裕
観音20　戸田善久
観音20　平尾幸平
観音21　木下正明
観音21　追田信子
観音21　藤松玲子
観音21　藤岡幹生
観音21　幡地文子
観音21　神崎マサ子
観音21　久保恵子
観音21　高本千野紀
観音21　下野喜美子
観音21　小林加津枝
観音21　讃岐地秋
観音21　奥本勇二
観音21　竹中利彦
観音21　吉永利行
観音21　栗原良子
観音21　神薗房子
観音21　目黒英幸
観音22　松田陽子
観音22　宮本正之
観音22　鎌田千賀子
観音22　花木昭子
観音22　佐藤小津恵
観音22　宮原弘子
観音22　山縣隆子
観音22　岡田高明
観音22　西尾裕次
観音22　匿名
観音22　石井巌
観音22　寺見俊昭
観音22　田中光晴
観音22　春田龍一
観音22　土居和江
観音22　横山修三
観音22　小畑進
観音22　森永恵利子
観音22　松井典子
観音22　西田美和子
観音23　加川美登利
観音23　田中信利
観音23　植木秀行

観音23　椿淑子
観音23　山本晶三
観音23　川西桂子
観音23　中丸元良
観音23　武田恵子
観音23　脇田直
観音23　植野美貴子
観音23　吉本朋近
観音23　川崎利昭
観音23　新本英人
観音23　林照一
観音23　平瀬美代
観音23　吉村行正
観音23　山本正
観音23　匿名
観音24　大畠潤三
観音24　入矢桂史郎
観音24　小田均
観音24　森原和子
観音24　片岡恵子
観音24　穴堀壽枝
観音24　青木謙二郎
観音24　伊藤健司
観音24　田川淳子
観音24　尾森たえ子
観音24　大村喜彦
観音24　坂本純一
観音24　大谷誠
観音24　柳田和夫
観音24　藤本聡志
観音24　谷川雅宣
観音24　勝谷英夫
観音24　下岡政憲
観音24　石井春文
観音24　井出邦良
観音24　山田節子
観音25　藤田絹代
観音25　臨光高明
観音25　斉藤泰子
観音25　小川順子
観音25　藤井高文
観音25　御堂河内貢
観音25　吉岡豊
観音25　由比恵美子
観音25　竹之上典昭
観音25　増田謙治
観音25　岡本恵子
観音25　臨光好子
観音25　柳村洋一郎
観音25　奥村玉江
観音25　斉藤周
観音25　吉川元荘
観音26　斉藤充子
観音26　中村敬子

観音26 友田美紀
観音26 福地信江
観音26 高橋康哲
観音26 岸川保和
観音26 八塚英嗣
観音26 多田晋
観音26 有村茂之
観音26 松尾淳成
観音26 平山かおる
観音26 塚井和則
観音26 田中岳子
観音26 山根節子
観音26 渡辺朋子
観音26 宮田英幸
観音26 塩本晃三
観音26 横山和久
観音26 打越理恵
観音26 香川基吉
観音26 平林一郎
観音26 沖本千明
観音26 長尾博
観音26 岡文子
観音27 立川昌宏
観音27 福永乃里子
観音27 土井美砂子
観音27 垰光起
観音27 米村健史
観音27 矢藤満子
観音27 長谷部洋子
観音27 天広涼子
観音27 今永謙二郎
観音27 草加俊司
観音27 平岡康生
観音27 福岡裕史
観音27 森近直子
観音27 小原悦子
観音27 上本真澄
観音27 平本博省
観音27 荒川留美子
観音27 前田紀久子
観音27 菊原玲子
観音27 八木美幸
観音27 児玉信宏
観音27 中山迅
観音27 沖村与志子
観音27 隅田寛
観音27 原田和典
観音27 小林恵理子
観音27 曽我弘美
観音27 有森斉
観音27 池田誠
観音27 新宅忠明
観音27 吉岡寛
観音27 武田昌子

観音27 高間恵子
観音27 小川裕子
観音27 真田千恵
観音27 有馬晋司
観音27 冨原政成
観音27 山田真理子
観音27 池下里子
観音27 澤田福子
観音27 宮畠美幸
観音27 石橋隆史
観音27 角屋彰
観音27 山隅健三
観音27 山田和俊
観音27 岡田玲子
観音27 加藤陽子
観音27 寺戸隆
観音27 成田正典
観音27 山田道男
観音27 加来万恵
観音27 金川祐子
観音27 戸野香
観音27 原照雅
観音27 大角純子
観音27 安田尚子
観音27 木原千代子
観音27 是友由季子
観音27 安原眞由美
観音27 安達千恵
観音27 広本和彦
観音27 安増恵子
観音27 森本真澄
観音27 叶谷やよい
観音27 大竹美津子
観音27 竹原年宏
観音27 南波裕之
観音27 本田穣慈
観音27 松原淳一
観音27 山村健
観音27 玄道真美子
観音27 宇田智子
観音27 松島秀平
観音27 辻山よし枝
観音27 長谷川さゆり
観音27 中川一之
観音27 村本真治
観音27 松本実千子
観音27 木戸貴美
観音27 鈴木和美
観音27 石井利枝子
観音27 内海英子
観音27 杉本光弘
観音27 堀田豪
観音27 土井和子
観音28 下川恭徳

観音28 位藤紀子
観音28 大木久美子
観音28 下畠英治
観音28 神田一宏
観音28 木本安彦
観音28 沖胡伸二
観音28 小早川徹
観音28 越道真寿恵
観音28 三木島彦
観音28 磯辺由美
観音28 川端一弘
観音28 元安孝子
観音28 滝口美恵子
観音28 石井清隆
観音28 石亀勝義
観音28 国崎千恵子
観音28 藤好睦子
観音28 能美照美
観音28 中川幹朗
観音28 西田康範
観音28 進藤純子
観音28 山本克子
観音28 新宅美幸
観音28 勝田紀子
観音28 岡本邦彦
観音28 梅田多佳子
観音28 随行洋介
観音29 奥村雅之
観音29 石井博衛
観音29 阿部一恵
観音29 大和田和稔
観音29 山田さをり
観音29 田島英司
観音29 鎌田いづみ
観音29 及川亨
観音29 山本秀樹
観音30 山上園子
観音30 池田美穂
観音30 那須玲子
観音30 山木戸利恵
観音30 福田栄子
観音30 山下徹
観音30 岡崎善文
観音30 佐藤公章
観音31 飯田典弘
観音31 奥苑泰弘
観音31 三谷啓子
観音31 坂口裕美子
観音31 亀津雅子
観音31 永瀬博美
観音31 寺井麻奈美
観音32 小寺由美
観音32 木村司
観音32 大山誠

観音32 草野みか
観音32 山県克則
観音32 米北由紀
観音33 和泉章
観音33 新佛清美
観音33 桐原真一郎
観音33 大塚健司
観音33 小河内仁美
観音34 金谷岳司
観音34 菰田龍一郎
観音34 向地武彦
観音34 河本裕子
観音34 冨岡竜子
観音34 神崎建一
観音35 津川賢規
観音35 岩佐典明
観音35 伊藤信宏
観音35 出浦淑枝
観音35 松村弘明
観音36 亘邦枝
観音36 村井弥生
観音37 増田直記
観音37 原田洋幸
観音38 西本知生
観音39 古田英路
観音39 濱家紀子
観音39 藤井由佳子
観音40 濱中昌子
観音40 櫻井健博
観音40 畠田智弘
観音41 中本博子
観音41 山本秀子
観音41 仁井明美
観音41 寺田和代
観音42 井清博史
観音43 笹野口斉
観音43 島田星平
観音44 中川かおり
観音46 美國友紀
観音46 鷹繁貴之
観音47 広瀬純子
観音47 宮本卓也
観音49 笹野口光
観音49 白井陽介
観音49 田辺佳史
観音49 北本泰子
観音51 泉優一
観音52 倉橋聡
観音52 松古真一
観音58 松尾知美
観音59 正畠みなみ
観音60 益田和輝
観音60 佐藤香菜子
観音60 平野真弘

観音61 坂本亮
観音61 宇都宮憲司
観音62 桑原依里菜
観音62 正畠かな
二中23 同期会

観音高校OB合唱団
観音5 同期会
観音21 同期会
観音21 G組
観音27 同期会

よみがえる絆　～集え！二中・芸陽・観音　ポプラの幹(もと)へ～

平成23年度同窓会を終えて

観音27回　上野博史

昨年11月12日（土）の平成23年度芸陽観音同窓会総会・懇親会の開催にあたりまして、多くの同窓生の方々にご支援とご協力をいただき誠にありがとうございました。当日は、190人もの同期生が集合し、合計約450人にも及ぶ多数の参加をいただき、盛況裡に終えることができました。懇親会では、旧友をはじめ先輩や恩師との再会に、会場のあちこちで談笑の輪ができ、青春の思い出話に花が咲き、話題が尽きないようでした。また、27期二次会では、三十数年ぶりの再会で、名前を聞いてもすぐにはわからない方もおられましたが、懐かしさでいつのまにか高校時代にタイムスリップ。短い時間ではありましたが、楽しいひとときを過ごすことができました。参加して下さいました先生や同窓生の皆さま、忙しい中大変な努力をしてくれた実行委員の皆様に感謝申し上げます。

今年は学校創立90周年に当たり、ますます盛大に開催されることを祈念致します。

【訃　報】

次の方々がご逝去されました。謹んでお悔やみを申し上げます。
平成23年9月（2011）以降事務局に連絡があったもののみ掲載しております。

氏名	期	日付
飯田守一	二中2	
荒川聞悟	二中3	H23. 3. 5
近藤哲男	二中5	H16. 4.28
永井至	二中6	H18. 5.24
中村道男	二中7	H11.11.11
本田大二	二中7	H16.12.12
橋川帰四郎	二中7	H22.12.28
大杉要	二中8	H22. 3. 2
長屋裕智	二中8	H22.
佐々木孝弘	二中8	H23.10.12
米田郁男	二中9	H23. 1.23
恵沢晟	二中9	
今田正治	二中10	H15.
小田民夫	二中10	H23. 4. 7
松尾洋	二中10	H24. 2. 9
高井明	二中10	H24. 3.12
小山正敏	二中10	
岩田孝	二中11	H23.10.19
田部昌	二中11	H23.11. 4
千葉清士	二中11	H23.11. 5
石橋忠也	二中11	
香本優	二中12	H23. 3.30
西田義之	二中13	H22. 1.
長井実正	二中13	H23. 3.
猪原正徳	二中13	H23. 8.31
島邦彦	二中13	
井倉睦	二中14	H13.12.16
打田新一	二中14	H22. 2.14
井上快助	二中14	H22.12.27
永富村雄	二中14	
加藤栄一	二中15	H10. 9.16
永末一登	二中16	H22.10. 6
宮本茂	二中16	H22.11.25
佐伯泰男	二中17	H21. 8.10
名越正	二中17	H22.
大江廣彦	二中17	H23. 5. 1
牛尾久士	二中17	H24. 5. 6
青木滋	二中18	H22.11.30
三宅紳童	二中18	H24. 7.18
増田清	二中19	H20. 5.12
山下茂	二中19	H23. 3.
増本貫一	二中19	H23. 4.29
木村逸磨	二中19	H23.
足立己	二中19	H24. 1.17
山田義則	二中19	H24. 2. 3
山根貫司	二中20	H22. 2.15
奥本正宏	二中20	H23. 8. 4
加納幸男	二中20	H24. 6. 5
二井谷隆三	二中21	H22. 9.27
渡辺義生	二中21	H23. 8. 4
信原皓三	二中21	H23. 9. 9
島田公生	二中21	H23.10.17
服部誠治	二中21	H23.12. 9
渡辺芳昭	二中22	H23.11. 5
林浩	二中22	H23.11.17
坂本久雄	二中22	H23.11.26
勝見完一	二中22	H24. 1.11
外林秀紀	二中22	H24. 1.
増永博昭	二中22	H24. 2.17
阿部真人	二中22	H24. 2.18
青森頼水	二中22	H24. 3. 3
松村敏彦	二中22	H24. 3.12
立川知昭	二中22	H24. 6.17
青森頼水	二中22	
宇川邦夫	二中23	H23. 2.
高橋正明	二中23	H23. 7.11
河野則行	二中23	H23. 7.31
和多利金次	二中23	H23. 9.29
正藤英夫	二中23	H23.11. 3
坊雄次	二中24	H22. 6. 3
藤山一	二中24	H22.12.
平田成行	観音1	H23. 3. 4
高橋正明	観音1	H23. 7.11
望月利晃	観音2	H20. 3. 4
大嶺繁夫	観音2	H21. 2. 4
松本隆夫	観音2	H23. 2.24
宮西五郎	観音3	H23. 7.16
徳永美代子	観音4	H18.11. 4
石田治正	観音4	H21. 6.
沼田川眞	観音4	H23. 6.
藤井正之	観音4	H23. 8.
大谷祐一	観音5	H17. 1. 7
大上健治	観音5	H22.12. 3
磯部敏明	観音5	
加土富夫	観音5	
滝口長彦	観音5	
馬渕義正	観音5	
川本功	観音5	
山口量	観音5	
瀬川紀久子	観音5	
長谷川省三	観音6	H22. 7.21
豊原盛男	観音6	H23. 9.10
竹岡誠司	観音7	
大下秀明	観音9	H23. 2.27
藤田洋子	観音9	H23.11. 7
本多孝太郎	観音11	H22.11.18
大成正樹	観音13	H22.10.15
石谷和子	観音13	H21.12.13
畠山幸子	観音15	H22. 5.15
梶原希世子	観音17	H22. 4.
藤井博美	観音19	H21.
小松珠里	観音19	H23. 4.
藤光雅幸	観音20	H21.11.
森岡麻里子	観音20	H22.11.
三上良子	観音20	H21.
岩本良文	観音20	H23. 7. 5
中木達幸	観音28	H23. 9.27
下原峰樹	観音29	H24. 2.21
江川浩	観音34	
小楠稔	観音34	
寺西正志	観音34	
林由子	観音34	
高野正浩	旧職員	H23. 8.15
加賀谷礼三郎	旧職員	H24. 4. 6

在京芸陽観音同窓会

第 25 回在京芸陽観音同窓会開催報告

年当番幹事　清水暢之（広島観音 17 回）

なかなかなり手のいなかった年当番幹事を、クラス会仲間の永山成一君（観音 17 回）と引き受けることになり、前回の幹事団・理事各位からの引継ぎを受けた。以来、同窓会って何？どうすれば喜んで参加してもらえる？と考えることになった。観音 17 回卒の我々 3 年 D 組は、この 10 年で広島での大塚憲郎先生をお呼びしてのクラス会を 3 回開催、在京クラス会は年に 2 ～ 3 回開いて十分に旧交を温めていた。 従って、今まで同窓会とか、同期会について真剣に考えることはなかったと言っていい。そこで早速『3 年 D 組在京クラス会』を招集して相談。当然と言えば当然ながら、クラス、卒業期を越えた交流をはかれる場にしようということになった。そのためのアイデアもなんとか絞り出した。

二中・観音卒という基盤は共有していてもほとんど初対面に近い。対面した時に名前、卒業期、趣味や近況などが直ぐに分かれば話をするきっかけがつかめると考えた。そこでよくある名刺型の名札をやめて、卒業期、名前の下に短い自己紹介文を記載することにした。当然名刺型よりも大型になるので、縦長のカードを二つ折りにして胸ポケットに引っ掛けるタイプとした。また、出席者リストにもこの自己紹介文をすべて掲載して、同窓会当日に配布することにした。プログラムについては、25 年を経て必要かつ十分な内容が盛り込まれていると感じたので、少しだけ前年より伸びた持ち時間は全て交流に当てようと考えた。

さて、同窓会当日 2011 年 10 月 15 日、目覚めるとまるで台風かと思うような風雨である。
しかし、ほぼ天気予報通り自宅を出るころには、風雨共にほぼ治まり青空さえのぞき始める。お蔭様で、当日の欠席は 2 名、当日の飛び入り 1 名で合計 56 名の参加者である。

プログラムは小生の司会で例年通りスタートした。まず、この一年でお亡くなりになった会員 4 名の御霊に黙祷を捧げる。続いて、25 年前にこの同窓会を二中同窓会として立ち上げ、観音も加えてひとつの同窓会とするにご尽力いただいた松本正理事（二中 22 回）にご挨拶、槇野弘二副会長（観音 6 回）に開会のご挨拶をお願いする。瀧山昇事務局担当理事（観音 9 回）から、2010 年度の会計報告と以下の三点に関する会則の改訂が提案され、満場一致で承認された。
①初年度維持会費（年額 3,000 円）を入会金（年額 1,000 円）に改める。
②年維持費を年会費（年額 1,000 円）と改め、入会年度から納める。
③本部を事務局担当理事宅におくことを明記する。
続いて山木和雄先輩（観音 3 回）によるご挨拶、乾杯の音頭をもって、着席ビュッフェによる食事・歓談に入った。

さて、この食事・歓談の時間が『卒業期を越えた交流』の目玉である。まず前半は当初の卒業期毎のテーブルセッティングのままで今しばらく盛り上がってもらう。会場が若干狭いくらいの状態だったことも幸いして、結構な盛り上がりようである。

食事・歓談の時間が半ば進んだところで、司会から席を立って他のテーブルに移動するよう案内する。何度か案内するが、賑やかに歓談されているため、案内が届いている気配がない。止むを得ず、配布した参加者リストの自己紹介文を見ながら、共通点のある参加者同士のマッチングを試みたが依然反応が鈍い。最後の手として、司会がマイクを持って会場内を歩き、小生と参加者のマッチングを試みるも、参加者は席を立って動く気配はない。いやでも時間は過ぎる。こちらの思惑通りとは言えなくても、賑やかに盛り上がっているのだから、これで良しとしよう。そろそろ、プログラムも締めにかかる時間である。

齋藤敏文さん（観音 23 回）の広島県人会の活動案内、山上園子さん（観音 30 回）の合唱部 OB の 2012 年 8 月 5 日の東京公演案内をお願いする。続いて校歌斉唱に移る。まず、松本先輩が音頭を取って二中校歌斉唱。張りのある素晴らしい声に圧倒される。人数では圧倒的に多い観音組ながら、卒業以来校歌を歌ったことなどほとんどないと思い、クラス会仲間の今城幸枝さん（旧姓繁村・観音 17 回）に音頭取りを頼んでおいてよかったと胸をなでおろす。山上さんをはじめとする合唱部 OB・OG にもリードしてもらうようお願いしていた。この合唱部 OB・OG の皆さんのお蔭で二中校歌にも負けない素晴らしい校歌斉唱ができたと思う。

最後の締めは、ここ数年続けてきて評判の高いエール交換である。前年に引き続き内冨幸司さん（観音 18 回）に快く引き受けていただき、素晴らしいエール交換になった。閉会の挨拶は、同僚年幹事の永山成一君にお願いして締めてもらった。

必ずしも幹事の思惑通りには進行しなかったものの、十分に楽しい時間を過ごせたのではないかと思う。今まで何回も参加して顔見知りであった先輩諸氏、我々観音 17 回のように年幹事になって初めて参加したもの、皆等しく盛り上がり、楽しい時間を持てたように思う。二中・観音の歴史を共有していればこそであったと思う。ご参加いただいた皆様に心から感謝申し上げる次第です。ありがとうございました。

年幹事を務めた観音 17 回卒組は、引き続き夕方から、神楽坂に場所を移して『在京同期会』を開催しました。実は神楽坂には我々のクラス会のたまり場があるのです。仕事の関係で同窓会には出席できなかった平岡伸三君（観音 17 回）が建築の仕事の傍ら『トンボロ』という喫茶店を開いているのです。観音 17 回 3 年 D 組の隠れ家というわけです。その平岡君が同窓会にも参加できないで仕上げた開店前のレストランがこの日の会食場所でした。オープン前のピカピカの店をオーナーが提供してくれたというわけです。
『同期会』と呼んだのは、いつものＤ組クラス会仲間に加えて、この日は観音 17 回Ｆ組から大町美恵子さん（旧姓福川）と苗村のり子さん（旧姓田中）のお二人が参加してくれたからです。この日の仕上げはシェフが腕をふるった料理とおいしいワインでした。

第 26 回　在京芸陽観音同窓会のご案内

日　　時：平成 24 年 10 月 21 日（日）　11 時 30 分受付開始　11 時 45 分同窓会開始（挨拶・事業報告・懇親会）
場　　所：Y's エステック情報ビル店・AGORI　新宿区西新宿 1-24-1　エステック情報ビル 4F　☎ 03-5322-3545
アクセス：JR 新宿駅西口（駅より徒歩 5 分）
会　　費：6,000 円
出席の確認：郵便振替用紙による振込みにより出席を確定させていただきます。尚、準備の都合上、振込期日は 9 月 28 日（金）とさせていただきます。また、振込み後 10 月 5 日（金）までに出席取り消しをご連絡いただきましたら、会費は返金いたします。
今回は、会費等の郵便振替用紙を広島二中卒ならびに広島観音高校 31 回卒までの皆様、約 600 名の方々にお送りしています。皆様の周りで、本会案内と振込用紙が届いていない方がいらっしゃいましたら、左記の同会副会長、懇親会幹事までご連絡ください。折り返し案内と振込用紙を送らさせていただきます。
クラスメイト、同期、部活仲間等皆様お誘いあわせの上ご参加ください。

在京芸陽観音同窓会　副会長　槇野弘二（観音 6 回）
☎ 03-3633-5899　E-mail：makino-k@ab.auone-net.jp

今回当番幹事　内富　幸司（観音 18 回）☎ 048-224-2034　E-mail：kk.kawaguchi0727@smile.ocn.ne.jp
松本　清高（観音 18 回）
久保田裕二（観音 18 回）

在京二中22回

松本　正

◆「バカじゃないんだ！ウマシカだ！」怒られた。二中８期の谷口清先輩からだ。この期が集まって作っていたのが「うましか会」。オーナー経者などの実力者が多く「威張っちゃいけない」という意味で名付けたそうだが、会場に「馬鹿会御席」と書かれて大笑いしたこともあるとか。故谷口先輩は二中で活躍した後、排球早大チームを率いてアメリカ遠征のＰ・ウイルソン号で当時の皇太子(現天皇)に麻雀の貸しを作ったという豪傑。そんな逸話も昔日のものとなった。◆「うましか会」の如く同窓会傘下のグループに面白い名前がいくつもある。平成２年当時の國武教頭にもよると、お医者さんの集まり「あやぐも会」この由来は言うまでもなく二中校歌から。「ポプラ会」これは県にも市にもあって一大勢力。その双方にまたがって課長以上に限る「県・市ポプラ会」というエリート集団もあるというから恐れ入る。ポプラが二中・観音共通のシンボルであること言わずもがな。これらは職域の集いだが、同期会だって負けちゃいない。在京の観音⑭期は「東京ポプラの会」と名乗り、観音⑫期は「白楊会」白楊はポプラのこと。二中⑪期は「昭士会」昭和十一年卒だから昭和のサムライ。同⑫期は「干支会」と来た。成程考えましたな。◆卒業回期数を取り込んだ同期会も多くある。二中８期は「八八会」、同⑲期は「十九会」、観音⑪期は「イチイチ会」だそうな。筆者の属する二中22期は「にいにい会」。♪「憧れのハワイ航路」で一世を風靡した作詞家石本美由起氏から「いい名前ですね」とお世辞を言われた。一篇ウン十百万とも言われた作家からである。◆活発な観音３期が「ねぎの会」とか。何でや？とリーダーの山木和雄氏に聞くと「学校の周りがネギ畑だったから」筆者が先年訪れた際は民家が密集して感じなかったが、そうか昔はそうだったのか。◆昔も今も日本人が最も好んで気楽に集まる会は２位が新年会。１位は？同窓会だそうな。どんなでもいいじゃありませんか。同窓会は楽しいんですよ。

新同窓会クラス役員紹介

観音63回

同窓会では、卒業時に各クラスから「同窓会クラス役員」を選出してもらい、この中から新理事が推薦されることになっています。

久しく紹介しておりませんでしたが、今後の同窓会の円滑な運営を願い、今春卒業の役員を紹介させて頂きます。

１組　井上真耶　古木健登
２組　安藤誠志　小田　栞
３組　江本一真　牧本美里
４組　綱木悠夏　吉田琢哉
５組　淡路建太　水口　麗
６組　川野祐貴　水田咲希
７組　加藤正太朗　椎木沙也加
定時　重川裕佳　浜野悠衣

本の寄贈

伊藤　剛二（二中11回）

・内科鑑別診断学（文光堂）
・薬理学（榮光堂）
・解剖学（金原出版株式会社）
・小児科診療の実際（南山堂）
・膵臓病（医学書院）
・胆道疾患研究の進歩（自然科学社）
・高血圧（サンド薬品株式会社）
・ＥＮＤＯＳＣＯＰＹ（日本消化器内視鏡学会雑誌）

今年の慰霊祭

前日の８月５日は日曜日にもかかわらず、生徒会の生徒たちが一生懸命に慰霊碑とその周辺を掃除してくれました。翌日の慰霊祭には、極暑の中、多くのご遺族の方、同窓生、学校職員が参列され、今年も生徒会、野球部、吹奏楽部の生徒たちの協力の下、犠牲者の冥福を祈りました。

当日は広島テレビが生徒にインタビューをし、ＯＢ合唱団の活動や慰霊祭の様子をタイムリーに放送しました。

編集後記

今年は四年に一度の五輪イヤー、ロンドン五輪では、水泳の寺川選手のように、銅メダルでも本人も周囲も大喜びのシーンと、同じ水泳の入江選手の、銀メダルでも悔しがるシーンのように、対照的なシーンが。ことのほか多かったように思う。あらためて、金メダルの期待のかかる選手のプレッシャーの凄まじさを思いやるこのことは、本校在校生にも当てはまる気がする。サッカー部やバスケットボール部、野球部など、周囲から、全国大会出場の期待の大きい部が、いずれも勝利を目前にしながら悪夢のような展開で逆転負けの連続。生徒は、一言も弁解せず自らの至らなさを悔いるが、周囲からの期待に懸命に応えようと頑張ったその姿に、同窓生は心から拍手を贈りたい。後輩たちよ、よくやったと。

今年は、本校創立九十周年の記念の年にあたる。十一月七日(水)に記念式典、十日(土)に、例年の同窓会懇親会と兼ねて祝賀会が開催される。記念式典も土曜日にしないのかとの声もあるが、部活動の盛んで強い本校で、土曜日に式典を実施すれば、生徒の半数近くが公式試合で出席できない。十一月十日の懇親会兼祝賀会が、多くの同窓生の出席のもとに開催れることを期待している。

平成24年度 芸陽観音同窓会

総会及び懇親会・創立90周年記念祝賀会

同窓生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

恒例の芸陽観音同窓会の総会・懇親会のご案内を行う時期となりました。今年度の懇親会は、創立90周年記念祝賀会もかねて行われます。

この度は、広島二中各回期世話人・観音28回期（S52年卒）・50回期（H11年卒）卒業生がお世話をさせていただきます。1人でも多くの会員の皆さまに御参加いただけますよう、ご案内を申し上げます。

詳細は下記をご参照下さい。

（揮毫 広島観音高等学校書道部）

1．日時　平成24年11月10日（土曜日）
受　付　17：00～
総　会　18：00～19：00
懇親会　19：00～21：00
（創立90周年祝賀会）

2．場所　ＡＮＡクラウンプラザホテル広島
〒730-0037 広島市中区中町7番20号（電話 082-241-1111）

3．会費　7,000円

【お問い合わせ先】芸陽観音同窓会事務局
（月～金 9：30～14：00）
電話/FAX：082-232-6930
メール　：g-kanon@ms6.megaegg.ne.jp
ホームページ：http://geiyou.net/

（写真 広島観音高等学校写真部）

広告欄のご利用について

会員相互の情報提供の場として、また会報代金の補助として、本紙に広告欄を設けました。
ご利用お待ちしております。

一段　　4コマ：1コマ 10,000円

お申し込みは同窓会事務局まで

この欄は2コマ分です

会　員　数
（2012年8月25日現在）
総数 31,590名

会報発行部数
22,000部

芸陽観音同窓会
〒733-0034
広島市西区南観音町4-10
広島観音高等学校内
TEL FAX 082-232-6930
月～金 9:30～14:00

http://geiyou.net/
E-mail:g-kanon@ms6.megaegg.ne.jp